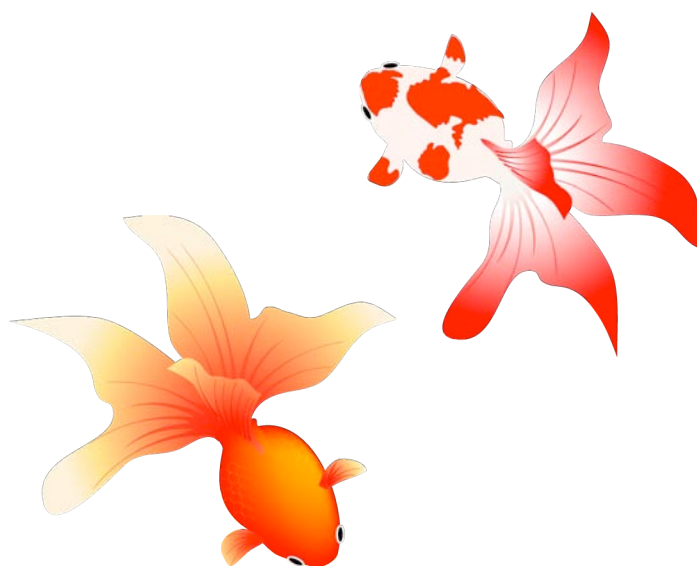


日本分析化学会九州支部

支部ニュース

第24号 2011年7月



九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2011年度 日本分析化学会九州支部

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学大学院工学研究院

支部活動報告

❖ 2011 年度 第 1 回常任幹事会 ❖

2011 年 6 月 25 日、九州大学伊都キャンパスウェスト 3 号館 2 階・応用化学部門会議室において日本分析化学会九州支部第 1 回常任幹事会が開催されました。議事録については準備ができ次第、支部ウェブサイトに掲載いたしますのでご覧下さい。

❖ 第 24 回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本化学会九州支部
世話人：佐賀大学 宗 伸明

2011 年 5 月 28 日、九州大学伊都キャンパス総合学習プラザ工学部大講義室において、第 24 回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。支部長の挨拶により開始し、以下の 4 名の先生方にたいへん興味深いご講演をいただきました。講演終了後、次期（第 25 回）春の講演会世話人である吉田秀幸先生（福岡大薬）と、この夏に開催予定の第 29 回夏期セミナー世話人である井倉則之先生（九大院農）から予告があり、引き続いて情報交換会を催しました。講演会には 86 名、情報交換会にも 30 名以上の参加者がありました。

講演題目

轟木 堅一郎（静岡県大薬）

「分析化学トピックス 3 点盛り」

天日 美薫（九環協）

「企業における分析化学」

神谷 典穂（九大未来化学創造セ）

「新規酵素標識核酸プローブの開発と応用」

丹羽 修（産総研）

「ナノ薄膜材料を利用したバイオセンシング法の開発」

（敬称略）

❖ 2011 年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、九州大学名誉教授の財津先生が 2011 年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。財津先生には今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

❖ 2011 年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2011 年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の 5 名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、本奨励賞について、次年度以降も会員の皆様からの積極的な応募をお願いいたします。

受賞者

坂口 洋平（福岡大学大学院薬学研究科）

「フルオラス化学を基盤とする分離指向性誘導体化 LC 法の開発」

宋 雪旦（九州大学大学院理学府）

「プロトン性イオン液体の液体構造-物性相関に関する分析科学的研究」

江藤 真由美（九州大学大学院理学府）

「アルミニウムイオンとポリアクリル酸間の相互作用」

吉永 尚生（九州大学大学院工学府）

「原子間力顕微鏡を用いた遺伝子一塩基変異の新規検出法に関する研究」

松井 大宜（九州大学大学院工学府）

「ガスクロマトグラフィー/多光子イオン化/飛行時間型質量分析法を用いるポリ塩化ビフェニルの分析」

（敬称略・順不同）

行事案内

❖ 第 48 回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：(社) 日本分析化学会九州支部ほか 7 化学関連支部
 期日：2011 年 7 月 9 日 (土) 9:00~17:00
 会場：北九州国際会議場

プログラム (分析化学分野のみ)

依頼講演 (13:40 - 14:10) (日本分析化学会九州支部
 推薦) 「生命現象解明のための新しい蛍光プロ
 プの開発」王子田 彰夫 (九大院薬)

ポスターセッション (14:50 - 15:50、開始 10 分前よ
 り掲示) 6_2.001~6_2.053 まで計 53 件

外国人研究者交流ポスター (12:30 - 13:30)

他のセッション等についての詳細は、大会ホームペ
 ージ (<http://godo48.cm.kyushu-u.ac.jp/>) をご覧下さ
 い。

参加登録費：参加費は無料。発表登録料として、ポ
 スター発表 1 件につき 2,500 円(予稿集 1 冊含む)
 を当日受付にて徴収いたします。発表者以外の参
 加者には、予稿集を 1,500 円で当日販売します。

懇親会：17:00 (予定) より、北九州国際会議場レス
 トラン「ラ・プラージュ」にて

会費：一般 4,000 円、学生 1,500 円 (当日徴収)。ポ
 スター賞受賞者は招待します。

問合先：第 47 回化学関連支部合同九州大会
 実行委員会 代表世話人 伊藤 芳雄
 (E-mail: yito@chem.kyushu-univ.jp、Tel:
 092-642-3914)

*配信が遅くなりましたので、支部ニュースが皆様の元に
 届く頃には支部合同九州大会は終わっております。たい
 へん申し訳ありません。記録の意味で行事案内に掲載さ
 せて頂きます。

❖ 第 28 回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会・日本分析化学会九州支部
 期日：2011 年 7 月 28 日(木) - 29 日(金)
 会場：国民宿舎めかり山荘 (〒801-0855 福岡県北
 九州市門司区大字門司 3270-8-3 (めかり山頂)[TEL:
 093-321-5538、URL: <http://www.kcta.or.jp/mekari/>]
 内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演
 夏期セミナー HP: [http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/
 biosci-biotech/seizou/29summer.htm](http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/biosci-biotech/seizou/29summer.htm)

7 月 28 日 (木)

- ・ 招待講演 1：局在プラズモンが誘起する非線形光
 化学：ナノ空間での反応・捕捉・分光 (北大院
 理&JST さきがけ) 坪井 泰之
- ・ 招待講演 2：たばこの香りの研究と分析技術 (日
 本たばこ産業 (株) たばこ中央研究所・副所長)
 東 信和
- ・ 模範ポスター発表：第 48 回化学関連支部合同九
 州大会 九州分析化学ポスター賞受賞者
- ・ ポスター発表：(優秀ポスター発表者には九州分析
 化学若手賞が授与されます)
- ・ 情報・意見交換会

7 月 29 日 (金)

- ・ 総会・受賞式
- ・ 受賞講演：平成 23 年度九州分析化学奨励賞受賞者

問合先：〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1
 九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門食品製
 造工学研究分野 井倉 則之
 [TEL/FAX: 092-642-3016、e-mail: [igura@agr.
 kyushu-u.ac.jp](mailto:igura@agr.kyushu-u.ac.jp)]

❖ 第 52 回 分析化学講習会 ❖

主催：(社) 日本分析化学会九州支部

共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会

期日：8月3日(水)～5日(金)

会場：九州大学伊都キャンパス・福岡市産学連携交流センター（九大学研都市駅から講習会会場まで無料送迎バスを運行します）

申込締切：7月15日（金）

講義：(8月3日、9:30～17:00、福岡市産学連携交流センター 交流ホール)

1. ガスクロマトグラフィー（九大院農）下田満哉
2. 高速液体クロマトグラフィー
（九大院薬）浜瀬健司
3. 原子スペクトル分析法
（九大院理）横山拓史（九環協）天日美薫

実習：(8月4日・5日、9:30～16:30、九州大学伊都キャンパス EN41 棟（101号室、102号室）、九州大学中央分析センター）（各日 1 コース，2 日間で計 2 コースを選択）

1. ガスクロマトグラフィー(GC)
（九大院農）下田満哉・井倉則之

基礎コース【EN41 棟（102号室）】

- A. 化合物の同定（保持指標、マススペクトル）
- B. 定量分析（内標準法）
- C. 試料導入法（スプリット法、スプリットレス法）
- D. 固相マイクロ抽出法（説明のみ）

応用コース【EN41 棟（102号室）】

- E. 固相抽出法による焼酎の香気成分濃縮（実試料）
- F. 固相マイクロ抽出法による焼酎の香気成分濃縮（実試料）
- G. GC-MS 法による香気成分の分析（E及びFの試料）
- H. 残留農薬分析の概要説明及びデータ解析

2. 高速液体クロマトグラフィー（HPLC）
（九大院薬）浜瀬健司（福大薬）巴山 忠

基礎コース【EN41 棟（101号室）】

- A. HPLC の基礎（逆相 HPLC・UV 検出；分離の最適化）
- B. 逆相 HPLC（電気化学検出，円二色性検出，蛍光検出）

- C. ゲル浸透・配位子交換クロマトグラフィー（示差屈折検出）
- D. 陰イオン交換クロマトグラフィー（電気伝導度検出）

応用コース【EN41 棟（101号室）】

- E. 超高速・高分離によるハイスループット分析法
- F. 生体・飲料試料中のキラリアミノ酸分析

3. 原子スペクトル分析法（AAS）

（九大院理）横山拓史・岡上吉広（九環協）天日美薫

基礎コース【EN41 棟（102号室）】

- A. 微量金属成分分析のための基礎
- B. フレーム原子吸光法における化学干渉とその除去
- C. 水素化物発生－石英炉原子吸光法（ヒ素の酸化数別定量）
- D. ICP 発光分析における分光干渉とその除去

応用コース【EN41 棟（102号室），九州大学中央分析センター】

- E. 実試料の前処理と ICP-MS による微量金属元素分析

ランチョンセミナー：(8月4日・5日、12:00～13:00、九州大学伊都キャンパス 稲盛ホール)

情報交換会：(8月4日、16:45～18:45、九州大学伊都キャンパス ビッグドラ)

使用機器：ジェイ・サイエンスラボ、東ソー、島津製作所、日本分光、日立ハイテクノロジーズ、日本ダイオネクス、資生堂、日本ウォーターズ、ジーエルサイエンス、アナリティクイエナ、エムエス機器、オルガノ、日本ミリポアの提供による最新機器

参加費：主催・共催会員 30,000 円、会員外 40,000 円、学生 10,000 円

申込方法：申込の件名を“第 52 回分析化学講習会申込”として、以下の項目(①～⑥)を明記し、E-mail または FAX でお申し込み下さい。当方から受付番号をお知らせしますので、参加費を下記口座にお振込み下さい。その際、振込み人氏名の前に受付番号を必ず記入して下さい。①受講者氏名、②所属、③連絡先（郵便番号、住所、TEL、FAX、E-mail）、④第 1、第 2 希望の実習コースの組み合わせ(GC 基礎、GC 応用、HPLC 基礎、HPLC 応用、AAS 基礎、AAS 応用の 6 コースから 2 コースを選択； 応用コ

ースは経験者に限定)、⑤応用コースを選択される方は該当する分析法の実務経験年数、⑥所属学会(協会を含む)

注意：a. やむを得ない事情により、プログラムの一部を変更することがあります。b. 各実習コースは定員制ですので、お早めにお申し込み下さい。また、実習コースをご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。c. 参加費の入金の確認をもって申し込みを受理いたしますので、参加者の名前を必ず記載して下さい。d. 会員には、勤務先が維持会員、特別会員、公益会員に所属する方を含みます。e. いったん納入された参加費の払い戻しは致しません。

入金口座：第 52 回分析化学講習会

福岡銀行 箱崎支店 普通 口座番号：2348174

申込先：〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院理学研究院化学部門第 52 回分析化学講習会事務局：[E-mail：bunseki52@chem.rc.kyushu-u.ac.jp、FAX：092-642-3905]

問合先：〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院理学研究院化学部門吉村和久 (TEL：092-642-3905、E-mail：kazz@chem.kyushu-univ.jp)

(口頭)、テクノレビュー講演(口頭)、受賞講演、シンポジウム

特別シンポジウム：

- ソフト界面を活かした分析化学
- 最先端医療を支える分析化学
- 工業分析最前線 ～分析は生産技術の要だ！～
- NMR による定量分析がもたらす新たな機器分析の可能性
- キャリアパスシンポジウム；企業で活躍する分析化学者の昔・今・そして将来の夢
- 宇宙と生命をつなぐ分析化学 –顕微鏡で宇宙を探り、望遠鏡で生命を探る–
- 若手シンポジウム「ヒラメキをユーザーへ ～産官学連携物語～」

連絡先：日本分析化学会第 60 年会実行委員会事務局

Tel & Fax: 03-5734-2612

E-mail：60nenkai@sv.jsac.jp

<http://www.jsac.or.jp/~kanto/60nenkai/index.html>

詳しくは実行委員会ウェブサイトおよび「ぶんせき」誌 5 号 M13 (他) をご覧下さい

❖ 日本分析化学会第 60 年会 ❖

期日：2010 年 9 月 14 日 (水) ～16 日 (金)

会場：名古屋大学東山キャンパス(名古屋市中種区不老町)

9 月 14 日：一般講演(口頭)、一般講演(ポスター)、若手講演(口頭)、若手講演(ポスター)、ロングディスカッション講演(口頭)、テクノレビュー講演(口頭)、受賞講演、研究懇談会講演、シンポジウム、ミキサー

9 月 15 日：一般講演(口頭)、一般講演(ポスター)、若手講演(口頭)、ロングディスカッション講演(口頭)、テクノレビュー講演(口頭)、シンポジウム、60 周年記念式典、学会賞等授賞式、受賞講演、懇親会

9 月 17 日：一般講演(口頭)、一般講演(ポスター)、若手講演(口頭)、ロングディスカッション講演

❖ 高木 誠先生 追悼講演会 ❖

去る年 3 月 17 日、日本分析化学会元会長の高木 誠 福岡女子大学理事長兼学長(九州大学名誉教授)が急逝されました。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでお知らせ致します。つきましては、故人を偲び、「追悼講演会」を下記の通り執り行いますので、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

主催：日本分析化学会九州支部

日時：平成 23 年 8 月 6 日 (土) 13 時から

会場：九州大学馬出病院キャンパス・百年講堂(中ホール 3)

プログラム：

1. 開会挨拶 片山佳樹(九州大学)
2. 「高木先生から得たもの：分離機能膜と超分子

分析試薬」早下隆士（上智大学）

3. 「分子認識を医療へ。高木先生から受け継いだこと」村田正治（九州大学）
4. 「高木先生から学んだ研究姿勢：生体成分を対象とした新規な分析系の構築」末田慎二（九州工業大学）
5. 「超分子化学を応用したバイオセンシングシステムの開発」佐藤しのぶ（九州工業大学）
6. 「異種物質の融合がもたらす新奇物性：高木先生の教え」前田瑞夫（理化学研究所）

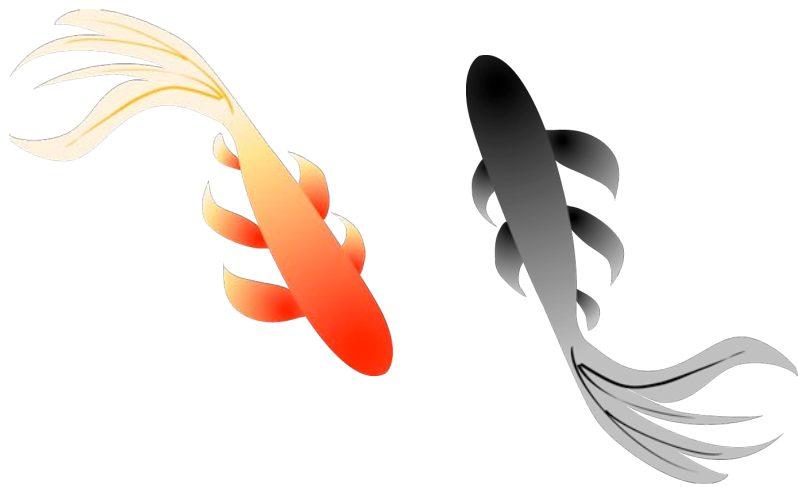
連絡先：日本分析化学会九州支部事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学 大学院工学研究院 応用化学部門 片山佳樹（支部長）

九州大学 大学院医学研究院 先端医療医学 村田正治（庶務幹事）

TEL: 092-642-6251、FAX: 092-642-6252、E-Mail: m-murata@dem.med.kyushu-u.ac.jp



事務局より

❖ 支部招待講演会・見学会 ❖

2011 年支部講演会・見学会は池上 天 副支部長が中心となり準備を進めています。本年度の見学会は、11 月 18 日（金）（株）同仁化学研究所（〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 2025-5）の予定です。詳細が決まり次第、支部ウェブサイトにてご案内いたしますので、お楽しみに。

❖ Analytical Sciences 誌投稿のお願い ❖

私たちの学会が国際的に“強い”ジャーナルを持つことは、会員にとって、延いては我が国の科学の地位向上のために非常に重要です。Anal. Sci. 誌の編集委員会では、同誌の国際的競争力の向上を目指して努力しております。その一貫として、年間で最も引用された論文を “Most Cited Paper Award of Analytical Sciences” として、また、毎月各号においては “Hot Article” を選定して、それぞれ表彰させていただいております。投稿から印刷までの期間短縮にも努めております（特に急がれる場合にはその旨、お伝えください）。良い研究成果ができましたら、Anal. Sci. 誌へのご投稿をご検討ください。また、是非は別にして、国際的競争力 = IP 値は否定できません。成果を他のジャーナルに投稿される場合でも、可能な範囲で Anal. Sci. の論文を引用してください。何卒よろしくお願い申し上げます（編集委員 井原）。

❖ 第 72 回分析化学討論会の準備状況について ❖

会期：2012 年 5 月 19 日（土）～20 日（日）

会場：鹿児島大学工学部（郡元キャンパス）

実行委員会構成：（敬称略）

委員長 肥後 盛秀（鹿児島大学）

副委員長 片山 佳樹（九州大学）2011 支部長

甲斐 雅亮（長崎大学）2012 支部長

特別顧問 脇田 久伸（福岡大学）第 57 年会実行委員長、奥村 稔（島根大学）第 71 回実行委員長
委員 全支部幹事

オンライン登録委員 満塩 勝（鹿児島大学）

参加者予想：720（講演総数 430、依頼講演 12、主題講演 30、懇親会 220）

討論主題（仮）：

- ・産業の子カラ・イノベーションの駆動力となる分析化学
- ・環境影響評価と分析化学
- ・分析化学における現代の溶液反応化学
- ・ナノ分析化学の新展開

オンライン発表申込等の予定（仮）：

登録開始：2011 年 12 月 14 日

登録〆切：2012 年 1 月 25 日

要旨入力〆切：2012 年 3 月 7 日

❖ 2011 年度カレンダー ❖

本年度の関連行事は以下の通りです。予定中の行事の日程については変更の場合もありますので、随時ご確認ください。

決定・終了している行事

ICAS（京都）： 5 月 22 日（日）～ 26 日（木）

九州支部若手の会（九州大学）：

5 月 28 日（土）

九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会（九州大学）：

6 月 4 日（土）

第一回常任幹事会（九州大学）：

6 月 25 日（土）

化学関連支部合同大会（北九州）：

7 月 9 日（土）

九州分析化学若手の会夏季セミナー（北九州）：

7 月 28 日（木）・29 日（金）

分析化学講習会（九州大学）：
8月3日（水）～5日（金）
分析化学会年会（名古屋大学）：
9月14日（水）～16日（金）

予定中の行事（仮）

学会賞等候補者推薦委員会・幹事会（福岡）：
11月17日（木）
支部講演会・見学会（熊本）：
11月18日（金）
第二回常任幹事会（福岡）：
2012年2月（土）

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対して、要望があれば、会長より支部を通じて機関誌の無償配布が行われるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。（担当：庶務

幹事・村田）

❖ 編集後記 ❖

梅雨も明け、九州は本格的な猛暑に突入しようとしています。電力不足で職場でのエアコンの使用もままならない状況にある方も多いと思います。どうかご自愛ください。先日、ドラッグストアに行きました。お店の一番目立つ場所には、水に濡らすと気化熱で冷た～くなるタオル、シャツにかけると涼しく感じるスプレー、風呂上がりに塗ってからだを冷やす？ローション…。日本人は、震災から電力不足が心配され始めてほんの1、2ヶ月の間にこんなに多くの製品を開発するんですね。その（商魂？）逞しさにあらためて感心するとともに、（原発を除く）被災地の復興も、いまを乗り切れれば、思いのほか早いのではないかと期待してしまいました。

この度は支部ニュースの発行が遅れましてたいへん申し訳ありませんでした。次号は2月頃、恐らく電子版のみの配信になる予定です。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。（副支部長・井原）



2011 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒 819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学 工学研究院応用化学部門
TEL & Fax: 092-802-2850

支部長	片山 佳樹 (九州大学大学院工学研究院) ykatatcm@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2850
副支部長	井原 敏博 (熊本大学大学院自然科学研究科) toshi@chem.kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3873
副支部長	池上 天 (株式会社 同仁化学研究所) takashi@dojindo.co.jp / 096-286-1515
庶務幹事	村田 正治 (九州大学大学院医学研究院) m-murata@dem.med.kyushu-u.ac.jp / 092-642-6251
会計幹事	森 健 (九州大学大学院工学研究院) mori.takeshi.880@m.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2849